

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式						
E112H028	理科野外実習 (Science Field Practice)						対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態					
必修	1	2	教育	後	他	日本語		単独					
担当教員	氏名 三次 E-mail tokuji@oita-u.ac.jp 内線 7723												
授業の概要	理科を構成する4領域の中でも、野外での学習が必要な2領域(生物・地学)を中心に扱い、受講生の野外での観察、実験能力の向上を図る。また、中学校理科における実践を念頭に、安全な野外実習の実施方法について考える。												
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7
目標1	野外での観察、実験の方法について理解する												
目標2	安全な野外実習の方法について理解する												
目標3													
目標4													
目標5													
目標6													
目標7													
目標8													
目標9													
目標10													
各DPへの関連度(計10)							10						
授業の内容													
1	オリエンテーション、野外実習の注意事項												
2	野外における植物の観察												
3	野外における動物の観察												
4	気象観測(基本的な気象要素の観測)												
5	気象観測(データロガー等の自動機器を用いた観測方法)												
6	天体観測(天体望遠鏡の使い方)												
7	天体観測(太陽表面の黒点の観測)												
8	天体観測(月や惑星の観測)												
9	地層観察(砕屑岩)												
10	地層観察(火山砕屑岩)												
11	豊後大野市における野外実習(地形の観察)												
12	豊後大野市における野外実習(エコパーク)												
13	豊後大野市における野外実習(岩石)												
14	豊後大野市における野外実習(化石)												
15	授業のまとめ、学習内容の発表												
ラ イ ク ニ テ ン イ グ ブ	A:知識の定着・確認	野外における観察、実験結果の発表(意見交換)					工 夫 そ の 他 の						
	B:意見の表現・交換												
	C:応用志向												
	D:知識の活用・創造												
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	事前に提示する資料の確認(5h)											
	事後学修	レポートの作成(8h)、発表準備(2h)											
	想定時間合計	15											
教科書	特に指定しない 必要に応じてプリント等を配布する												
参考書	大分県内で用いられている中学校理科の教科書												

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	授業への取り組み	40%										
	実験レポート	40%										
	学習内容の発表	20%										
注意事項	危険な観察、実験も含まれているので、教員の指示をしっかりと聞くこと											
備考	令和6年度以降入学生のうち、令和6年度入学生の主免2理科選択の学生は必修科目となる。令和7年度以降入学生の主免2理科選択の学生は選択必修科目となる。(物理学実験、化学実験、理科学外実習から1科目以上を選択)											
リンク												
	URL											